

経営協議会学外委員からのご意見に対する取組状況(経営協議会)

令和5年度

議題名	学外委員からのご意見等	ご意見を頂いた 経営協議会	取 組 状 況
<p>国立大学法人山口大学 現物資産寄附活用基金 規則の制定等について</p>	<p>○寄附をお願いする際には、現金の寄附に加えて、現物資産による寄附も受け付けていることの両方を宣伝したほうがよい。</p>	<p>第116回 (令和5年9月19日)</p>	<p>企業訪問時や卒業生へ発送する会報誌と一緒に封入する山口大学基金資料の中で、また山口大学基金ホームページにおいて、現金以外に「土地・建物等の不動産」、「株式等の有価証券」、「教育研究用の設備や機材」など、現物資産による寄附を受け付けていることを紹介している。あわせて、株式、土地等の現物資産による寄附については税法上の優遇措置があることも周知している。</p>
<p>研究戦略室及び細胞医 科学研究所の設置につ いて</p>	<p>○研究所を作ることによって、ガバナンスの視点から何が新しく、どういことを試みて、どういことを検証してみたいということを明確にしておくことが大事だと思われる。 ○5年後、10年後のビジョンも含めて様々な次元と要素が入っており、筋の通ったストーリーとそれが実装できるかというリアリティチェックも必要であると思われる。</p>	<p>第116回 (令和5年9月19日)</p>	<p>学長直下に執行部を含む研究戦略を検討するために必要な学内者で構成する研究戦略室を新設した。本学の研究力向上に向けたマネジメントを戦略的に行うことにより、大型外部資金の獲得に繋げ、細胞デザイン医科学研究所が5年後・10年後の目標を達成することが出来るように進捗状況を確認し、着実に進めていくこととしている。 なお、研究所は10年の時限を付けて設置しており、その後の存続については、自己点検・評価委員会及び外部評価委員会の評価結果を参考に、役員会の議を経て、学長が行うこととしている。</p>

経営協議会学外委員からのご意見に対する取組状況(経営協議会分科会)

令和5年度

分野	学外委員からのご意見等	ご意見を頂いた 経営協議会	取組状況
<p>教育</p> <p>(テーマ:大学生の就職活動のあり方について)</p>	<p>最近は通年採用など採用に係る環境が変わり始めている。重要なのは企業との力関係。大学の学力(実力)を上げるしかないと思う。そのために学生は基礎学力をつけないといけない。産業界に属することは、入社後に仕事を通じて勉強して欲しい。即戦力として活躍して欲しいが、基礎的なことが身につけてない学生が多々いる。内定の早期化で学業を疎かにする学生がいることなど、マイナス面があるのも確かである。山口大学のブランドを地道に高めることが一番重要で評判を高める近道だと思う。</p>	<p>第115回 (令和5年6月26日)</p>	<p>山口大学は、専門教育とならび基礎教育(共通教育)に力を入れている。中でも社会で活躍する人材を育成する観点から正課内外のキャリア教育を全学展開するとともに、働くことを学ぶ本、社会人基礎力を学ぶ本からの学びを推奨したり、日経電子版ギフトを配ったり、世の中の基本を学習する取組を強化した。また、就職活動の前に、広く仕事を学ぶことが重要だと考え、学内業界・企業研究会や本学OBOG訪問などの取組も重点化しており、産業界の皆さまとの接点を学内に設け、学ぶ意欲の向上につなげたい。決して学業を疎かにすることなく、就職活動の早期化に踊らされることなく、適切な就職活動に取り組むことが重要と考え、さらに指導を強化している。</p>
<p>教育</p> <p>(テーマ:外国人留学生の日本企業への就職について)</p>	<p>文部科学省が推進している外国人留学生促進プログラムについて、現在の山口大学の留学生の就職状況等を考慮すると、プログラムの目標達成は難しいことが予想されるため、慎重に検討してほしい。 また、今後の大学の方針についても併せて検討していく必要がある。</p>	<p>第116回 (令和5年9月19日)</p>	<p>外国人留学生促進プログラムの申請について、いただいたご意見を踏まえて慎重に検討を行った。直近3年間の留学生の国内就職状況を考慮すると、申請の際の目標値である「国内就職率50%」を達成することは現時点では困難であると判断し、令和5年度の申請は見送ることとした。 ただし、留学生の就職について地元企業との意見交換も行っており、引き続き国内就職状況の改善に向けて検討を重ねていく。</p>
<p>研究</p> <p>(テーマ:細胞医科学研究所の設立について)</p>	<p>細胞デザイン医科学研究所のマネジメント体制について、研究所員は、実質的には兼務と説明があったが、直属となる研究所員が数名はいないと、研究所としてのパフォーマンスが発揮できないのではないかと。この組織を育てていくなら、研究所に対する帰属感、オーナーシップが必要だが、兼務だけでは難しく、運営の工夫が必要ではないか。また、各研究部門とのマトリックス組織は運営が難しいので、力強いマネジメント能力を持った人材が必要だと思う。</p>	<p>第116回 (令和5年9月19日)</p>	<p>細胞デザイン医科学研究所に学長裁量教員人事ポイントを措置することにより、研究所の裁量による戦略的・弾力的な研究所員の確保を行い、各研究部門との各拠点によるマトリックス組織のマネジメント＝橋渡しを所長・副所長の下に円滑に進めることで、本学の強み・特色ある研究分野の研究力を飛躍的に向上させる体制を構築する。具体的には、以下のような研究所員の確保を検討している。 ①新規研究開発PJを創出するため、学外から専任教授を新規雇用 ②学内の優秀な若手教員に昇任ポイント分を使用して研究所に昇任配置換 ③革新的治療法の社会実装も目指す拠点として、製薬企業などの産業界にて創薬の研究開発等、事業化の経験が豊富な優秀な研究者を、クロスアポイントメント制度を活用して招聘</p>

分野	学外委員からのご意見等	ご意見を頂いた 経営協議会	取組状況
<p style="text-align: center;">財政</p> <p>(テーマ: 決算データを活用した外部資金収入の見える化)</p>	<p>○日本における寄附の税制では、海外と違って寄附をしづらい状況である。若手研究者などは公益財団に応募させ、寄附を狙うべきではないか</p> <p>○寄附を増加させるためにふるさと納税のように寄附者に還元する制度も必要</p> <p>○公益財団からの寄附を狙うのも重要であるが海外の企業にアプローチすることも重要</p> <p>○他大学で外部資金を増加させた良い例を参考にしたら良い</p> <p>○第4期中期目標で外部資金20%増加させる根拠はあるのか。計画をベースに理屈をたてて実行しなければならない。</p> <p>○フランスでは企業と一緒に学生を人材育成する目的で外部資金を獲得している。</p>	<p style="text-align: center;">第116回 (令和5年9月19日)</p>	<p>学長、理事、副学長で、各学外委員からのご意見やご助言を基に、以下のことについて今後のアクションを提案し議論した結果、各担当理事で引き続き検討し、対応することとなった。</p> <p>1: 公益財団等の公募型助成事業への積極的な応募について …若手研究者などが政府系ファンドだけでなく、企業や公益財団等の公募型助成事業にも積極的に申請させるような戦略を打ち立てる。</p> <p>2: ふるさと納税制度及び海外企業への寄附活動について …山梨大学などのふるさと納税制度をはじめ、岩手大学や福井大学など、地域連携の一環として県や市とも連携した取組みなどを参考にし、寄附金(基金)の増収に向けて戦略を打ち立てる。</p> <p>3: 外部資金の増額目標の再設定について …客観的・多面的アウトプット指標等から本学の研究力を分析するとともに、ライバルの成長も意識して、それと遜色のない目標を再設定して、そのうえで研究力の向上戦略を打ち立てる。</p> <p>4: 学生の人材育成を通じて企業等から外部資金を得る方策について …グリーン社会推進研究会等の取組みの中で、社会人対象のリカレント・リスクリング教育による人材育成を通じて、企業等から収入を得るような戦略を打ち立てる。</p>
<p style="text-align: center;">地域連携</p> <p>(テーマ: 山口市及び宇部市における地域連携プラットフォームの運営状況と今後の活動方針)</p>	<p>・他市へのプラットフォームの展開について、山口市及び宇部市のプラットフォームでは運営に労力がかかっているが、具体的な取組・成果をこれからという段階なので他市への展開は次期尚早と考える。</p> <p>・NHKや山口フィナンシャルグループの包括連携協定も活用していけばよいのではないかと期待している。</p>	<p style="text-align: center;">第116回 (令和5年9月19日)</p>	<p>・他市へのプラットフォームの展開については、周南、山陽小野田、下関地域は各公立大学が中心となって立ち上げるプラットフォームの構築を、本学が各公立大学へ提案している(各大学を訪問済)。</p> <p>・山口フィナンシャルグループについては、既に山口市・宇部市のプラットフォームの構成員として参画してもらっているが、他の包括連携協定についても活用できる分野があれば、検討していく。特にNHKについては、プラットフォームの取組・成果を発信する際に、ご協力頂けると期待している。</p>